



上毛町の情報をイラストにしてPR!

絵本制作委員会の皆さんは、広報こうげに連載している「こうげマンが行く」のイラストを描いてくれたり、町の観光スポットや文化財、上毛マップなどを、わかりやすくイラストで紹介しているよ。



現在、垂水の牛頭天王公園に伝わる「牛頭天王伝説」の絵本を製作中だよ。また、これまでに製作した絵本やグッズは「こうげの食卓 もくもく」に展示、販売をしているよ。ぜひ行ってみてね。



町の歴史や文化財にまつわる物語を絵本にして多くの子どもたちに伝えることをコンセプトに、平成20年、地域づくり活動団体に認定されました。メンバーは全員、町の文化財の発掘や保護に携わる仕事をしていることから、町で生まれ、大きくなつて行く子どもたちに少しでも町の歴史や文化を伝える事ができればと思い、絵本制作などの活動をしています。

町の観光名所や文化財をイラストにしたり、平成22年には松尾山にまつわる民話を絵本第一弾として、作成しました。「松尾山とお薬師さま」と題した絵本は町内の小・中学校、保育会のイラストを見た木崎保則さん（久留米市）から、創作絵本「河童福太郎の恩返し」の挿絵と製本を依頼されるなど、絵本制作委員会の活動が町外にも認知され、確実に広がっていることを実感しています。

イラストは代表の東みどりさんが担当、文字

を挿入したり、レイアウトなどの編集はメンバー全員で行います。そして、皆さんおなじみの、町のキャラクターとしても大人気の「こうげマン」は絵本制作委員会のメンバーが、「子どもたちが、興味を持ち、分かりやすく楽しく学べるように」と町章をもとに生み出し、着ぐるみも製作しました。今ではこうげマンは各地で行われるイベントに登場し、すっかりおなじみになりました。

さて、これからはこうげマンに生みの親である絵本制作委員会の活動を紹介してもらいましょう。



こうげマン誕生秘話！

ぼくが誕生したのは平成17年、ぼくの生みの親である、東みどりさんが、文化財学習で使う年表のイラストを描いている時、行き詰まってボンヤリ外を眺めていたんだって。目に飛び込んでひらめいたんだって！「そうだ、これを顔にしてマントを付けて誰にでも愛される戦隊ヒーローを作ろう！」

それから、アイデアがどんどん膨らんで「足はもう少し短くしてベルトを付けて、全体はやつぱり2頭身くらいかなー」忙しい仕事の合間に何枚もラフを作成して、こんなカツコイイ上毛町のヒーロー「こうげマン」が誕生したんだよ。「こうげマン」って言う名前もつけてくれたんだ。これからも、町の観光や歴史をいろいろ紹介していくので、皆さん、ぼくのことを応援してね。

地域づくり
Close-up

